

海面清掃

社団法人 山口県周南清港会 磯村秋好

1. 当会の活動(徳山・下松港海面清掃)

清掃事業区域

徳山・下松港(周南市、下松市、光市)地先水面において漂流物、汚物等に関する海面清掃事業を行っています(写真1)。白線内の港湾面積は14,589ヘクタールです。白線の右端から左端まで陸続きで約30キロあります。この海域の清掃活動です。

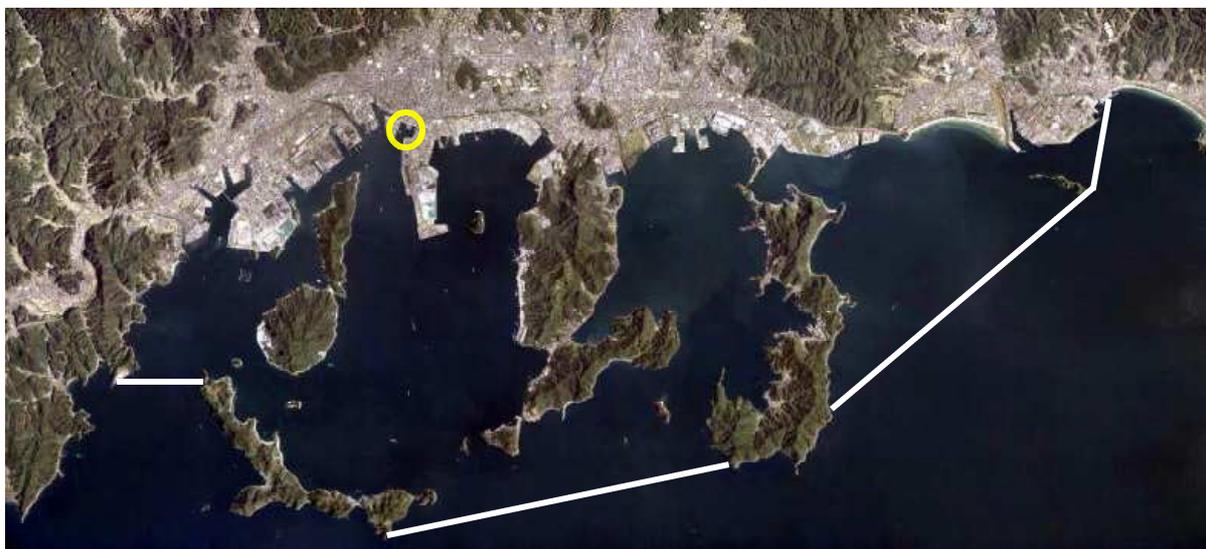


写真1

最近では、台風がほとんどこない状況で清掃船での海面作業は年に数回程度です。しかし、港湾内の海底、陸上はゴミが多い状態です。

海面

海面清掃は、清掃船(写真2)で浮いているゴミを回収運搬しています。空き缶や空き瓶、発泡スチロール、ビニール袋等いろいろなゴミが雨の時に山から川、そして海に流れ潮の流れや風によって集まります。時には大きな木が流されてきます。人の力で木を船に揚げるできない場合は、岸までロープで引っ張ってクレーンで陸揚げします。



(写真2)

海底

海底を調査したところ透明度は悪く、ヘドロも堆積しています。船の航行に支障をきたす（スクリュウの水流で海底のゴミが舞い上がる）タイヤ、自転車、空き缶等が大量に沈んでいます（写真3・4）。毎年、ダイバーによる海底清掃作業を実施しています。



写真3(タイヤ)



写真4(自転車)

最近では藻場（アマモ）も数カ所あり、メバルやチヌ（クロダイ）がいるようです。

陸上

陸上は港内のゴミ収集場所のゴミが動物（犬、猫、カラス）に荒らされ風の強いときには飛び散っています（写真5）。



写真5



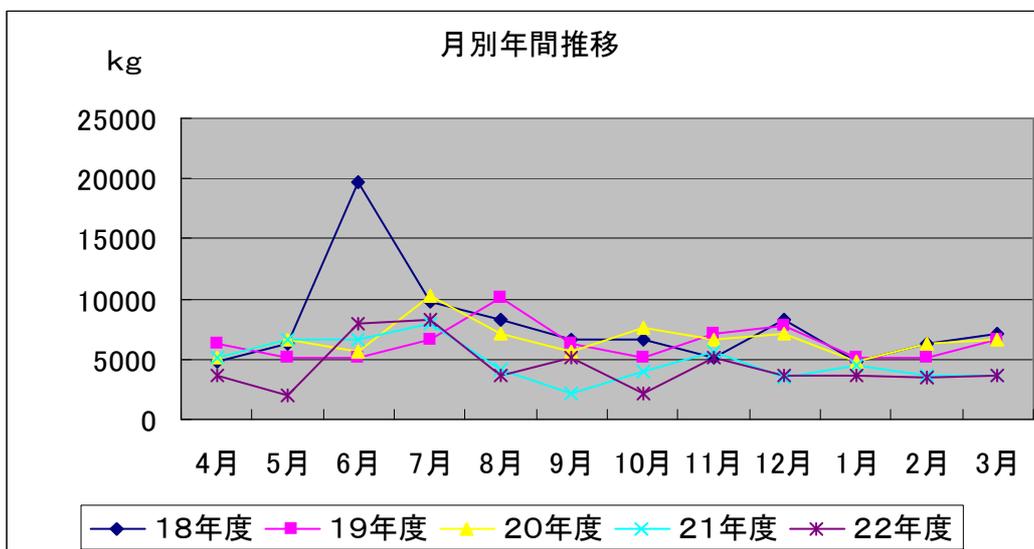
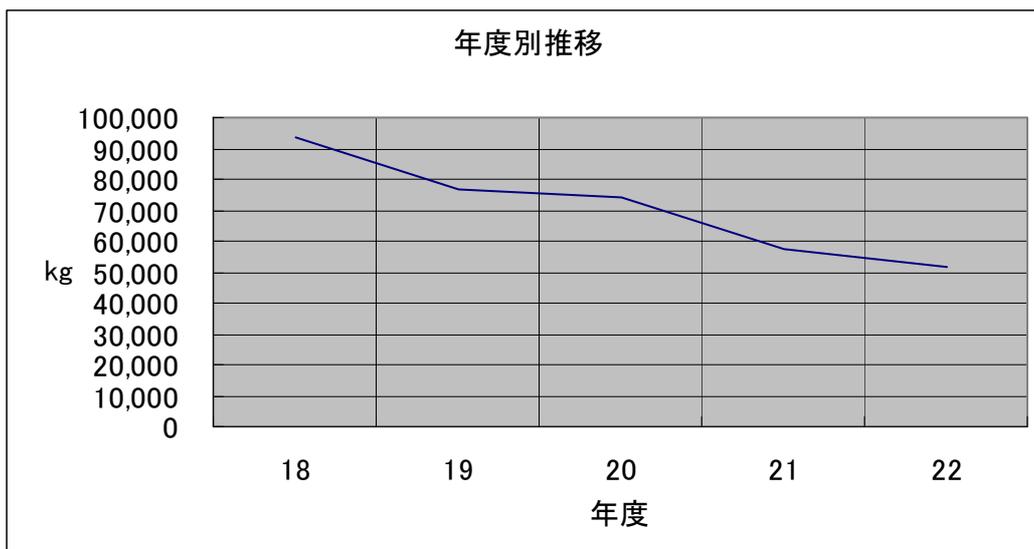
写真6

また、住民による不法投棄（家電製品、寝具、縫い針、注射器等）があります。局所的に公衆衛生上、残念な状態が続いています（写真6）。清掃活動を行っているものの、状況はよくなりません。

また、各地でクラゲの大量発生が起こっていますが、こちらも毎年のように大量発生しています。場所はいわゆる潮だまりのようです。工場からの温排水が大きな要因と思われます。湾を大規模に埋立したために潮の流れが悪くなったか変わったのではないかと推測します。

釣り人によると、今まで釣れたことのない「色鮮やかな魚」が釣れたことがあるとも言っていました。

ゴミ回収量の年度別・月別推移



年度別データでは、5年間の平均は約71 t。18年度が93,7 tと最も多く22年度が51,6 tで最も少なくなっています。傾向としては毎年ゴミの量は減少しています。これは、山や川がきれいになりゴミの量が減っているのと、大雨・台風が少ないからでしょう。

月別でみると、月平均は約6 t。傾向としまして雨や台風の影響で梅雨から夏にかけてゴミが多くなっています。そして12月と3月が多くなっています。12月は年末の大掃除後のゴミ、3月は転勤による引っ越し後のゴミが不法投棄されたものです。

また、不法投棄には店の倒産などで廃棄処分された物もあります。

2. 将来像(環境保全・再生のあり方)

文明の発達とともに環境が悪化してきました。その文明の力、産業界と私たち一人一人の努力で環境保全に努めなければならないでしょう。

★ 産業界の努力 . . . 公害防止対策の整備。

- 水 質
- 水 温

★ 私たち一人一人の努力 . . . マナーを守る。

【 取り組み（山口県釣り団体協議会と共催）
「海をきれいに」をスローガンに、幼稚園児や小中高生、大学生による清掃活動とあわせて稚魚の放流を、年2回実施しています。
特に幼稚園児については、小さいときから海に親しみを持ってもらうため。】



そして自然の治癒力。

時間を薬にこれから将来に向けて環境保全活動を続けていくことで海の環境が良くなってほしいと願っています。